

7月号

いっしん

平成29年(2017年)

第390号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

われよしと
思う心に
あざむかれ
ゆくての道を
あやまるなゆめ
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師御歌



講師 森山恵美子先生(島根県今市教会)



西南ブロック信心研修会 開会行事



宮崎市内のヤシの木並木道



霧島SAにて



全国信徒会主催 西南ブロック信心研修会

六月四日(日)宮崎市「宮日ホール」(宮崎日日新聞社会館)において全国信徒会主催の「西南ブロック信心研修会」が開かれました。

昨年開催を予定されていましたが、熊本地震により一年延期しての開催でした。

この日は、南九州教区の熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の各方面、また北九州教区からの参加者もあつており、二百五十名が入る「宮日ホール」は、ほぼ満席となりました。加治木教会からも八名で参加させていただきました。

宮崎県連合会の先生方や信徒の皆さんが、企画・準備に二年前から取りかかれて、ようやく実施された研修会で、その祈りを感じる尊い研修会でした。

講話とパネルディスカッションの二本立ての催しで、信心のご馳走のフルコースをゆっくり堪能させていただきました。

西南ブロック信心研修会…P1～3 教母桂ミツ先生の伝え…P4～5
お知らせ…P6 少年少女全国大会参拝…P7 行事予定…P8

全国信徒会主催

西南ブロック信心研修会

当日、宮崎駅にほど近いビル街にある宮日会館ビル近くに来ると、宮崎北教会にお引き寄せいただいたという萬代慎太郎さんと電話連絡が取れて、宮崎県連合会で準備された駐車場へと案内していただき、昼食も「宮日ホール」のすぐ近くにあるシヨッピングビルの「カリーノ宮崎」を教えてもらい、明るい雰囲気の下街にて一同でゆっくりと昼食を取らせていただくことができました。



宮日会館
(宮崎日日新聞社屋)

開会ギリギリまでゆっくりと昼食を頂き「カリーノ宮崎」から、数十メートルほどの位置にそびえ立つ近代的なたたずまいの「宮日会館ビル」の十一階へとエレベーターで上がっ

て行きました。

会場にも駐車場と同じく、宮崎県連合会の信徒の皆さんがにこやかに出迎えられ、パンフレットを渡され、場内には、大分県・熊本県のほか遠方から先生方や信者の皆さんがお見えになっておられました。

やがて十二時半より開会行事が始まり、来賓の皆さんのごあいさつがあり、森山恵美子先生（島根県今市教会）の講話が始まりました。



講師 森山恵美子先生
(島根県今市教会)



11階のエレベータ出口でのパンフレット配布

事前の講師紹介の資料では「九年

間(株)ひろしまタウン情報勤務」とありましたので、お仕事を通しての体験談をお話になられるかと予想していましたが、意外にも、明治期の曾祖父母の入信から今日までの、四代にわたる信心と教会御用の、祈りと波乱に満ちた継承体験談を聴かせていただくこととなりました。

森山恵美子先生（島根県今市教会）の講話では、大きくは四つに分けてお話になりました。

* 一つ目は、曾祖母森山シゲ氏の二度の離婚と、苦難の中に入信のご縁を頂かれ、神様を杖に生きられ、養子の息子に信心を伝え、お道の教師と立たせられた凄まじささえ感じさせていただきました。

* 二つ目は、講師の祖父に当たる今市教会の初代となられた森山実先生の御用のようすや、信者さんや家族に対する誠実で深い祈りをもっての接し方をいくつかの思い出を紹介してお話になりました。

三つ目は、二代教会長のお父様とお母様方希望と勧めにより、今市教会の後継者が、兄妹三人（兄と弟あり）の内の自分となったものの、仕方なく継がされたような不甲斐ない思いに悩まれ、入学試験まで受けた金光教学院の入学を断り、ご自身の身の振り方を模索する中で、出逢った先生から「教会の御用は金光様をもっとも「いつお暇が出るかわからない」と仰せられるほどのこと、神様・霊様方の願いは家や家業を継いでもらいたいのではない、人が助かることの御用にお使いくださいと、生涯貫いて立て抜かれた願いを継いでみる気にはなりませんか」とのお言葉に、お道の御用をさせていただく臍（ほそ）を固められた経緯をお話し下さいました。

*

四つ目は、教師になり教会で御用をするようになり、平成十九年記念祭直前にお母様が「急性動脈乖離」で倒れられたとき、森山家の信心の初代曾祖母が困難な時期に頂かれたみ教え「お土地に座って拝んでみよ、どんなことでもおかげを頂ける」と

荒木理恵氏(江田教会) 小島明氏(大分教会)

いうようにして神様に祈りを込めていると「天地は生きてどんな困難な中にあっても、生きていく天地に包まれ支えられ、おかげを頂いて今も皆生かされて生きている、すべてを神様にまかせて、今私ができることを私は精一杯させていたたくことだ」という思いになり、記念祭も、お母様の病気快復もおかげとなって行かれたことをお話になりました。



パネルディスカッションの様子

栗原隆治郎先生(都城教会)、森山美恵子先生、井脇征さん(西郷教会)、村上誠氏(鹿児島教会)

第二部の、パネルディスカッションでは四人の信徒が、鹿児島県からは村上誠さん(鹿児島教会・五十代)、熊本県からは荒木理恵さん(江田教会・三十代)、大分県からは小島明さん(大分教会・七十代)、宮崎県からは井脇征さん(西郷教会・七十代)の四名がパネルとして登壇され「自分に信心が伝わった経緯」と「信心して良かったと思った経験」と「信心を伝える」について、四人四様の感動的な信心談が交わされ、講師の感想を交えた内容豊富なディスカッションがなされました。

(※当日の講話・ディスカッションの録音CDは教会で貸し出し中です。)



帰途 霧島SAにて

お礼を申すだけに

しなさい

それがおかげに…



桂ミツ師

小倉教会の初代の奥様教母桂ミツ先生がお若い頃に、金光四神様に対し、病気のおかげを蒙ることのできる信心についてお尋ねになられたくだりがあります。『教母』(金光教小倉教会発行)十九ページより)

「金光様、神様から(おかげを)頂く信心とは、どういふ信心でございましょうか。」

「信心もなんぼ通りもある。参るのは参り信心。頼むのは頼み信心。拜むのは拜み信心というてなあ。まあ

その中でも、参り信心が取りどころじゃ。数多く参っておるうちには、ああいう信心をすれば、ああいうおかげ、こういふ信心には、こういふおかげと、おかげの頂かれる信心が、追々わかってくるようになる。まあいっばし参るんじゃなあ。」

このみ教えを深く心にとめて帰り、父母にもそれを伝え、また、郷里の近くで御用をされておられた原田タニ先生にそのことを伝えんと、

「金光様が『いっばし参るんじゃ』と仰せになったからには、いっばし参らせていただきなさい。金光様は、あなたのことはよくご存知なのだから、もうこれからは、足が痛いので、どこが悪いのと言わずに、金光様今日もお参りさせていただきありがとうございまして、お礼を申すだけにしなさい。」

との仰せでした。

その後、ミツ先生(当時は原田ミツ)は眼病を患われ悩んでおられたある日、御本社にお参りされると、どこが悪いとか眼の容態については何も言っておられないのに、四神様は、御結界の座を立たれてご神前に

お進みになられ、

「生神金光大神様、天地金乃神様、お届け申し上げます。ここに参拝の黒崎村沙美、原田林二郎の娘ミツ、毎日宏大なるみ恵みを蒙りまして有り難く御礼申し上げます。当人体内の血のめぐり悪く、誠に難渋致しております。本日はまた目の痛みで参ってきておりますが、本人はもとより家内一同の者一心の信心が引き立ちますならば、何卒一日も早く安心のおかげをお授け下さいませ。」

との御祈念のお言葉があり、ミツ先生は、心の眼が開かれたような気がされ、私は何も言っていないのに金光様はご存知だったと思われ、

「…今までお礼申し上げる心がいささかもなかったことに気づき、お礼やらお詫びやらを真から申し上げるようになり、それからはみ教え下さる一言ひとことが身にしみ込むようになり、日を重ね月を経るに従って、あれだけの難症も次第におかげをこうむったのであります。」

ということでした。

おかげを頂きたいと思ひ願うより「お礼を申すだけ」の信心になるこ

とにより、おかげが受けることができるといふことです。

ですが、この「お礼を申すだけ」の信心には、天地の大神ということに甘受し、実感するということのような稽古を進めることが大切でありましよう。



立教聖場（教祖様広前）

（樋口一郎氏画・「金光教」HPより）

そこまでの信心の稽古のあり方について、次のようなみ教えがあります。『教母』(金光教小倉教会発行) 十三ページより)

「金光様、何と云うて、私は神様に拝みましたら、お道にかなうものでしょうか」とお届け申しました。

すると教祖様は「そうじゃなあ。天地の神様にお礼を申すことを忘れんように、天地の神様にお礼を申せば、その次のおかげは神様が下さるんじや。」「…どれくらいお礼を申したら」と申し上げると「…あなたの家は海岸じゃ。目が覚めて波の音が聞こえたら『天地の神様、私は何も分からず寝ておりましたが、こうして生きておりました。波の音が聞こえまして、有り難うございます。今日の命を頂きましたことをお礼申し上げます。どうぞ、目が覚めました今日一日を守ってくださいませ。…今日一日、天の神様、地の神様、私が役に立つように、どうぞ私を助けて下さい。』と拝みなさい。」

と、このようなみ教えを頂かれ、お礼を申し、喜び、お役に立つ信心の稽古を進めて、おかげを蒙られ、お徳をお積みになって行かれております。

現在教団を挙げて取り組ませていただいています「神人あいよかけよ

の生活運動」の「願い」の中に「神のおかげにめざめ」という言葉があります。

それは「こうして生きておりました。波の音が聞こえまして、…今日の命を頂きましたことをお礼申し上げます」というように、当たり前前命や健康を賜っていることがどんなに尊いものかを心にきざみ、自覚し、すなわち心の眼を目覚めさせ、心の真底からお礼を申すことができるようになって行きましようということなのです。

そういう信心の稽古・あり方が、願うおかげを蒙るための一番の近道なのです。



第70回 金光教少年少女全国大会

8 / 5・6・7

(土) (日) (月)

8/5・6の参拝も可能
です…帰途新幹線。

鹿児島地方教会連合会そろって いっしょに御礼参拝しましょう！

8/5AM7:00鹿児島市→始良市→湧水町→ご本部(光風館泊)…8/6全国大会・パレード・わかば祭参拝→山口県内泊→観光→8/7夕帰着予定
★交通費～大人25000円・中高生20000円・小学生18000円ほど



ひっせべ!バンド

練習して「かがやけ大行進」に参加しませんか!

(楽器演奏されない方も参拝・参加、大いにけっこうです!)

※バンドの練習曲楽譜は、ホームページ「金光教加治木教会」→「少年少女会」→「行進の練習用楽譜」でプリントアウトして下さい。

※合同練習を実施する場合は、会場・日時を随時連絡いたします。

◇参拝・参加を希望される方は、連合会青少年育成担当 矢野章(加治木教会)までご連絡下さい。
連絡先 Tel 0995-62-2895 / fax 020-4665-5653 / Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp

鹿児島地方教会連合会青少年育成協議会

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

まがっこう運動

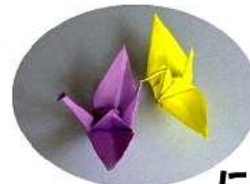
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の送れない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

*切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

*切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。

*枚数を明記してお届けください。

*外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。

使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。



加治木教会

バンド隊練習

毎週土曜 19:00~

※夏休み、どの場合は連絡いたします。

《演奏予定》

★第70回 少年少女全国大会 明日田「かがやけ大行進」

★7月23日(日) 祈願祭(御大祭) お直会にて

★9月頃 熊本地震仮設住宅にて「移動図書館お返し、復興支援活動かぐえん演奏」



場所…加治木教会

対象…バンド演奏に興味のある人(年齢不問)

七月のご霊神様のおまじない

- 川畑祐義 之霊神(7日)平成17年
 - 中野繁 之霊神(9日)昭和54年
 - 大山ちあき之霊神(12日)平成13年
 - 村上淑子 之霊神(13日)昭和52年
 - 福山悦子 之霊神(13日)平成2年
 - 津上基次郎之霊神(18日)昭和31年
 - 金竹重利 之霊神(19日)昭和60年
 - 山本豊子 之霊神(19日)昭和3年
 - 上田スギ 之霊神(19日)平成21年
 - 福元三次郎 之霊神(20日)昭和33年
 - 須藤禮子 之霊神(22日)平成18年
 - 平地政男 之霊神(25日)昭和21年
 - 前田ツネ 之霊神(27日)昭和60年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

感 詠

(教会長)

あ天口な
り地にれ
てのすば
の處る尊
こみ さに
と

育人のあ
ちのた念
得力リも
ぬでてち
もて

い年か寝苗
く寄ぜ冷代
らりをえ寒
も子ひなる
ありどもか
ぬ

称季あ仕咲
え節り込く
らきてみ花
れたこそ手
ぬりそ入
るて

あしあと

加治木教会行事記録

6月

- 1(木) ●報徳月例祭 10時半
- 4(日) 西南ブロック信心研修会
- 6(火) 57(水) 教区教師研修会
- 9(金) 清掃御用 10時
- 10(土) ●月例祭 10時半
- 併せて 加治木教会布教六十六年記念祭
- 11(日) 御本部教団独立記念祭(遥拝)
- 21(水) 清掃御用 10時
- 22(木) ●月例祭・共励会 13時半
- 龍笛練習 16時
- 25(日) 連信奉者研修会 10時半
- 29(木) 清掃御用 10時
- 30(金) 上半期感謝祭 10時半

七月十七日(祝・月)

甘木親教会

祈願祭 参拝

出発午前七時半 帰着午後七時頃

七月二十三日(日)午前十一時より

加治木教会

祈願祭 奉仕

講師 人吉教会長 安武光太郎 先生

八月六日(土)〜八日(月)

少年少女全国大会 参拝

出発〜八日午前八時 帰着〜五日午後七時半頃
 旅費〜大人〜二五〇〇円 中学生〜二〇〇〇円
 小人〜一八〇〇円 幼児〜八〇〇円
 交通機関〜マイクروبス (霊地〜光風館泊)

教会行事

7月

- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (月) 親教会参拝日(参拝未定)
- 9 (土) 多良木教会祈願祭 11時
- 10 (日) ●月例祭 10時半
- 16 (日) 甘木親教会 教師研修会
- 17 (祝) ●甘木親教会 祈願祭
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭ご参集のみ 10時半
- 23 (日) 加治木教会 祈願祭 11時
- 30 (日) 連女性の集い 10時半
- 31 (月) 清掃御用 10時
- 〃 さつま会《連合会》 10時半

《未定行事》青年会・若婦人会・少年少女会

八月二日(水)〜五日(土) 出発一日
 午前九時 午後三時解散

少年少女会連合本部
御本部年代別キャンプ

対象、中高生 ※スタッフで
 矢野裕子参加
 詳しくは、教会まで

8月

- 1 (火) ●月例祭(報徳) 10時半
- 5 (土) 少年少女全国大会 出発
- 6 (日) 少年少女全国大会 当日
- 7 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●月例祭(生神金光 併せて) 10時半
- 18 (金) 19 (土)
- 20 (日) 甘木親教会 婦人教師会
- 21 (月) 連夏のつどい
- 22 (火) 清掃御用 10時
- 22 (火) ●月例祭(天地金 乃神様) 共励会 13時半
- 31 (木) 清掃御用 10時

加治木教会 バンド練習会

毎週 土曜日 午後七時

七月の練習日

一日、九日、十五日、二十九日、

今年も練習会に参加のおかげを
 頂き、みんな少年少女全国大会
 で、健康の御礼を現させてい
 ただきましよう。

「熊本地震」の「移動図書館
 おあしす」が開かれるときの
 演奏奉仕のおかけを蒙らせて
 いただきましよう。
 被災地のみなさんの心を癒す
 演奏です!